



ザビエル像



# 平戸ひらめ サブレ

菓子工房えしろ



店内には洋菓子はもちろん、和菓子もご用意しています。平戸に来られる際は、お立ち寄りください。



江代雅也さん

# 平戸 葛屋 サウケルブロード



最後に訪れた「平戸 葛屋」は一五〇二年創業。五百年以上続く、平戸を代表する老舗で、平戸藩主・松浦家の御用菓子司を務めてきた歴史を持つという。洗練された空間ながらも、伝統と風格を感じさせる店内には、昔ながらの和菓子に加え、江戸時代から受け継がれてきたお菓子や平戸ならではのものが数多く並んでいる。オリジナル落雁「サウケルブロード」もそのひとつ。平戸を貿易拠点の一つとしたオランダ東インド会社（VOC）のロゴマークがあらわれた大航海時代を彷彿とさせる逸品だ。

平戸の商店街はメインストリートの他にもいくつもの小さな路地があり、「地藏小路」「鍛冶屋小路」と、名前が付けられている。そのどれもが昔ながらの風情を醸し出し、道行く人たちは挨拶をしてくれる。平戸のスィーツは、単なるおいしいお菓子ではな

い。それは歴史と文化に育まれたものであった。



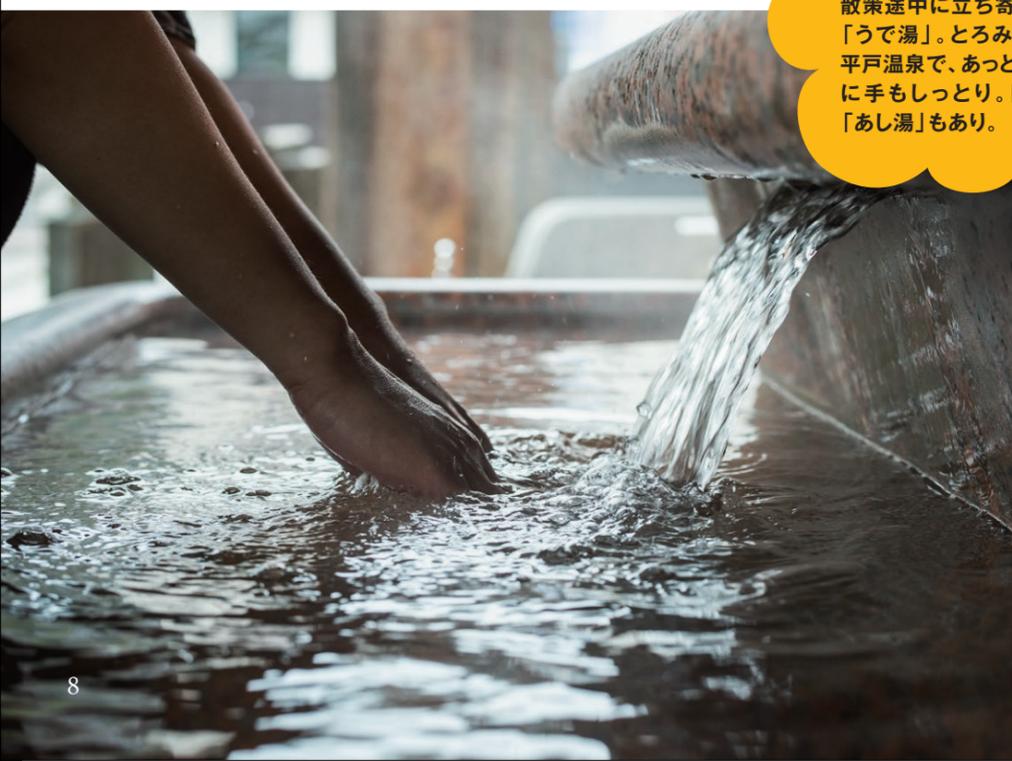
ヨーケースにカラフルな洋菓子が並ぶ「菓子工房えしろ」。こちらで見つけたのは、なんとも可愛らしく、ユニークな形をした「平戸ひらめサブレ」。天然ひらめの水揚げ量が日本有数の平戸では、毎年一月中旬から三月末にかけて、飲食店やホテルで天然のひらめを味わえる「平戸ひらめまつり」が開催される。このイベントの二十周年を記念して三年前に誕生したこのサブレは、地元産の塩と小麦粉を使った平戸らしいお菓子だ。

商店街と交差する「歴史の道」は、史料博物館へと続く道。この通りには、フランシスコ・ザビエルやウィリアム・アダムス（三浦按針）など、平戸ゆかりの人物の小さな銅像が並び、ちょっとした撮影スポット。この地に異国との交流の歴史が息づいていることを改めて感じることが出来る。

歩みを進めると、何やら賑やかなお店に出会った。「お茶でもどうぞ」と招かれて入ったのは「平戸 有香製茶」。囲炉裏を囲み、店主の有浦さんが淹れてくださったお茶で一服。

まろやかな味わいに驚くと、「ひらめどり」というお茶で、そのぎ茶に深蒸し茶や芽茶等をバランスよく配合したオリジナル商品とのこと。「実は平戸はお茶伝来の地。しかしながら産地ではありません。だから私が昔から惚れ込んでいたそのぎ茶をベースに、平戸のお茶を作ったんです」。

おいしいお茶と一緒にいただくのは、商店街そばの菓子店から取り寄せている



散策途中に立ち寄りしたい「うで湯」。とろみのある平戸温泉で、あっという間に手もしっとり。隣には「あし湯」もあり。



三浦按針像

路地の奥には、平戸ならではの「寺院と教会の見える風景」も。

# 平戸 有香製茶 ひらめどりみどり茶

お菓子



# 菓子処津乃上 平戸城もなか

まち歩きに疲れたら、お茶をどうぞ。おいしいお茶の淹れ方もお教えます。



有浦契さん